

照明技術賞

- 最優秀照明賞 劇映画部門 寒椿(東映株式会社) 担当 増田 悦章
- 最優秀照明賞 TVドラマ部門 宮沢賢治の授業 バルコク・バラゲラ(日本放送協会) 担当 飯酒盃真司
助手 久保宣雄
- 最優秀照明賞 産業記録映画部門 該当作品なし
- 最優秀照明賞 C・M部門 キリンビール・キリンラガー 二人のエネルギー(朝日放送) 担当 上木 実
- 特別賞 劇映画部門 復活の朝(プロダクション・エフ、プロダクション・クラブボード) 担当 島田 忠昭
助手 石田健司 南 信治 井川義之 花岡正光 宮内倫史
- 特別賞 TVドラマ部門 ジャック・アンド・ベティ物語(初恋編)(朝東京放送) 担当 久保田芳實
助手 下山新吉 夏井茂之 加藤久雄
- 特別賞 C・M部門 ナショナルマイクロ波電子焼却器 のら犬哀話(朝電通プロダクション 大阪支社) 担当 沼田 竹二
助手 森川 久 近藤 玲 山口和彦 渡辺勝行 植月亮次 鎌田昭治
- 審査委員特別賞 C・M部門 セブン-イレブン・ジャパン セブン-イレブンの不思議(東映シーエム) 担当 石川 博宜
- 新人賞 TVドラマ部門 銀の雫 杉の芽(日本放送協会) 担当 中村 正則
助手 井原孝司 斎藤幸夫 竹内信博
- 第16回協会賞 協会発展に尽くされた功績に対し 堀江 醇(朝ナック) 高柳清一
- 第16回協会賞 永年(40年)勤続 梅谷 茂 小林友治 小室彰範 鈴木直秀 野田正博 村上修一
- 第2回伊藤幸夫賞 安藤和也 瀬尾伸幸

最優秀照明賞 劇映画部門 寒椿

増田悦章

昭和6年9月15日生

昭和25年東映映画入社、26年東映設立と共に入社、33年技師となる。

36年契約技師となり現在に至る。作品歴：ザ・ヤクザ(50)、冬の華(53)、青春の門二部作(56.57)、鬼龍院花子の生涯(57)、陽暉楼(58)、序の舞

(59)、權、花いちもんめ(60)、火宅の人(61)、夜汽車(62)、華の乱(63)、あ・うん(H1)等150本。その他TV映画、CM等多数。受賞歴：アカデミー優秀賞7回(最優秀2回)、日本映画照明技術者協会最優秀照明賞3回受賞。

選定理由：昭和初期における男女の葛藤を画いた作品意図を十分把握し、電灯光下の照明は哀感溢れ、全編破綻のないライティングはベテランの力量を十二分に発揮しており、作品の完成度を一段と高めました。ここにその功績を認め、平成4年度劇映画部門最優秀照明賞を贈ります。

最優秀照明賞 テレビドラマ部門 宮沢賢治の授業
バルコク・バラゲラ

飯酒盃真司

昭和27年9月20日生

1971年埼玉県立川口工業高校電子科卒業。同年日本放送協会へ入局。

照明をはじめ撮影・音声などの番組制作技術全般に従事しながら、本格的ドラマ照明技術者を志す。主な作品は「大河ドラマ・太平記」「人間道徳処青山あり」「金ドラ・腕におぼえあり」など。現在NHKテクニカルサービス(NTS)において「大河ドラマ・琉球の風」を担当している。

選定理由：宮沢賢治の授業「バルコク・バラゲラ」の照明技術は採光も色調も良く、時代色も良く出しており、その映像は格調高く秀逸であり、まさに技術の勝利であると認め、ここに平成4年度テレビドラマ部門最優秀照明賞を贈ります。



最優秀照明賞 CM部門 二人のエネルギー



上木 實

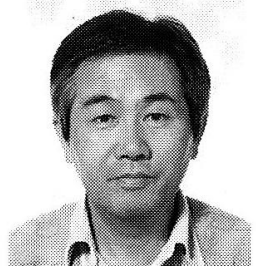
昭和25年3月28日生

北海道函館市出身。1968年北海道函館市西高等学校卒業。71年スター照明にて照明見習いを始める。のち東映、三船プロを経てフリーの助手に。82年伊地知完、高宮丈夫氏のもとから技師として一人立ちし、現在

に至る。主な仕事：CM「SONY・ミュージックテープ、オーバーナイト・サクセス」(85)、「A・G・Fブレンディー・ファミリー」(86～92)、「日立エレターフェイス」(89.90)、「日立AV、クインシー・ジョーンズ」(89.90)、「デュダ、No1～4」(90)、「サントリー・アーリー・タイムス、ライクーダー」(88)、「日本テレコム、宮沢リエ」(91.92)。「マコトのハナシ」NHK・オレエアー16mm。

選定理由：4分30秒というCMとしては長い作品であるにもかかわらず、作品の内容に添った雰囲気作りと、飽きることのないその照明技法は高く評価されるものであり、ここに平成4年度CM部門最優秀照明賞を贈ります。

特別賞 劇映画部門 復活の朝



島田忠昭

昭和12年10月5日生

東京都出身。昭和31年日活撮影所入社、同47年退社しフリーとして照明に携わり、平成1年(株)ワークス・プロダクトを設立し、現在に至る。主な作品：泥の河、ダブルベット、オキナワの少年、台風クラブ、瀬戸

内少年野球団青春編、蛍川、嵐が丘、ふたり、復活の朝。受賞歴：「泥の河」日本アカデミー最優秀照明賞、「蛍川」日本アカデミー最優秀照明賞及び日本照明技術者協会最優秀照明賞。

選定理由：ガン(癌)告知という今日的テーマを十分把握し、蛍光灯下の現代の病院を陰影感を漂わせて表現したライティングは、現代を描く一指針となるものです。ここにその功績を認め、平成4年度劇映画部門特別賞を贈ります。

特別賞 テレビドラマ部門 ジャック・アンド・ベティ物語 (初恋編)



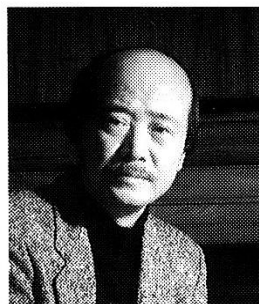
久保田芳實

昭和14年3月1日生

昭和23年4月(1957)松崎照明研究所入社、同36年4月(1961)東京放送に入社、現在に至る。延べ36年間照明に従事。近年制作参加ドラマ：東芝日曜劇場、とんぼ、こんな男と暮らしてみたい、スクラップ、ポルノ女優小夜子、セクシュアルハラスメント、東京カード物語、普通の結婚式、母のシルエット(フランスにて制作)、塀の中の懲りない面々、源氏物語。受賞歴：平成3年度日本照明技術者協会最優秀照明賞受賞。

選定理由：「ジャック・アンド・ベティ物語」初恋編の照明技

特別賞 CM部門 のら犬哀話



沼田竹二

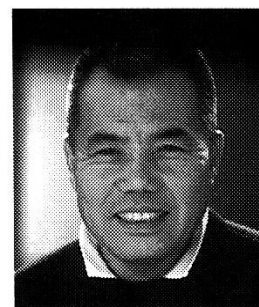
昭和13年9月3日生

昭和35年(株)東映京都撮影所に入社37年(株)電通映画社(現ブックス)大阪支社入社、42年照明技師になり現在に至る。以後CMを中心に活躍、主な作品に、H1年・任天堂、日本生命、松下電器、ハウス、H2年・大阪

ガス、金鳥、小堀住研、JR四国、HDソフト、ベルサイユ宮殿、夢の舞踏、H3年・武田食品、松下電器、JR四国、島津製作所、H4年・松下電器、三井不動産かんさい、H5年・任天堂、JR西日本等、担当作品多数。

選定理由：歓楽街での夜間ロケという作業上の困難さと主人公が犬という事などを考慮したとき、照明の創意工夫が随所にみられ、その努力は作品に大きく貢献したものと認め、ここに平成4年度CM部門特別賞を贈ります。

審査委員特別賞 CM部門 セブンイレブンの不思議



石川博宣

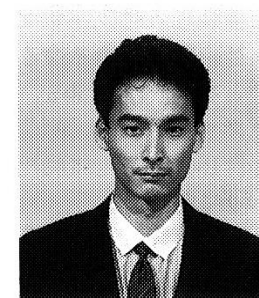
昭和19年3月9日生

東京都出身。昭和37年TCJに入社。その後シューティングセンターを経て昭和53年フリーとなり、事務所「ハンズ」を結成して現在に至る。作品歴：カネボウ化粧品、JR東海、セブンイレブン、花王、麒麟ビール、

JTタバコ、ナショナル、丸井等、担当作品多数。CMを中心に活躍。

選定理由：雰囲気作りも素晴らしいが、なかでも大胆ともいえる逆光のテクニックは作品の完成度に貢献しただけでなく、挑戦ともいえる姿勢であり、高く評価できるとして、ここの平成4年度CM部門審査委員特別賞を贈ります。

新人賞 テレビドラマ部門 銀の雫 杉の芽



中村正則

昭和40年12月7日生

1978年日本工学院専門学校映像メディア工学科卒、NHK制作技術局番組技術センター入局。現在NHK放送技術局制作技術(照明)勤務。作品歴：平成元年、大河ドラマ「春日局」の照明助手としてドラマ照明に

係り、平成3年度「銀の雫」にて初のドラマLDを担当し、現在連続テレビ小説「ひらり」を担当するに至る。

選定理由：「杉の芽」銀の雫シリーズの照明技術は日本家屋の陰影を良くとらえ、自然光を基調として創り上げられた映像は、ライトを意識させることなく作品の主張と融和しております。新人の技術者として将来を嘱望するものがあり、ここに平成4年度テレビドラマ部門新人賞を贈ります。